

2019年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年9月7日

上場会社名 フリービット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3843 URL <https://freebit.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ経営管理本部長 (氏名) 和田 育子 TEL 03-5459-0522
 四半期報告書提出予定日 2018年9月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第1四半期の連結業績（2018年5月1日～2018年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第1四半期	10,435	10.5	401	64.0	172	—	△147	—
2018年4月期第1四半期	9,444	2.6	244	△54.2	11	△96.9	△306	—

(注) 包括利益 2019年4月期第1四半期 △108百万円 (—%) 2018年4月期第1四半期 △270百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第1四半期	△6.66	—
2018年4月期第1四半期	△13.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第1四半期	30,791	10,433	27.8
2018年4月期	30,796	10,675	28.8

(参考) 自己資本 2019年4月期第1四半期 8,568百万円 2018年4月期 8,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年4月期	—	—	—	—	—
2019年4月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年4月期の連結業績予想（2018年5月1日～2019年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	24.2	2,750	48.5	2,400	68.3	250	—	11.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。また、連結業績予想の修正については、本日（2018年9月7日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期1Q	23,414,000株	2018年4月期	23,414,000株
② 期末自己株式数	2019年4月期1Q	1,218,800株	2018年4月期	1,218,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期1Q	22,195,200株	2018年4月期1Q	22,195,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算の概要説明の入手若しくは閲覧の方法）

- ・ 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・ 四半期決算の概要説明は、その記録動画を当社ウェブサイトにも速やかに掲載する予定です。

（日付の表示方法の変更）

「2019年4月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

「経営成績に関する説明」において使用する名称の正式名称及びその説明は、下記のとおりであります。

使用名称	正式名称	説明
DTI	株式会社ドリーム・トレイン・インターネット	当社連結子会社
トーンモバイル	トーンモバイル株式会社	当社持分法適用関連会社
フルスピード	株式会社フルスピード	当社連結子会社
フォービット	株式会社フォービット	当社連結子会社
フリービットEPARKヘルスケア	株式会社フリービットEPARKヘルスケア	当社連結子会社
ギガプライズ	株式会社ギガプライズ	当社連結子会社
MVNE	Mobile Virtual Network Enabler	MVNOの支援事業者
MVNO	Mobile Virtual Network Operator	仮想移動体通信事業者
FMC	Fixed Mobile Convergence	インターネットプロトコルを使用することによって、固定通信網と移動通信網を融合させることのできる仕組み
SIM	Subscriber Identity Module	電話番号を特定するための固有のID番号が記録されたICカードのこと
アドテクノロジー	Ad Technology	「テクノロジーを駆使した広告」の総称で主にインターネット広告における配信技術や広告流通の技術のこと
DSP	Demand Side Platform	広告主の広告効果最適化を目指すプラットフォーム
ソーシャルメディア	Social Media	個人による情報発信や個人同士のコミュニケーションを主とした人の結びつきを利用した情報流通メディアのこと
アフィリエイト	—	アフィリエイト広告で収入を得ている方々の総称
アフィリエイト	Affiliate Marketing	Webページ等の広告を経由して、広告主のサイトで会員登録や商品購入をした場合にリンク元の媒体運営者へ報酬が支払われる仕組み
Health Tech	Health Technology	“健康×IT”によりヘルスケア領域に変革を起し、次世代の健康管理メソッドを創出していくもの
IoT	Internet of Things	モノに通信機能を持たせてモノ同士が相互通信することにより、ヒトが介在することなく自動認識や自動制御などが行える仕組み
不動産Tech	Real Estate Technology	“不動産×IT”により不動産業界に新しいサービスの潮流を起し、ITを用いて不動産関連サービスを進化させていくもの
ICT	Information and Communication Technology	情報通信技術
SNS	Social Networking Service	インターネットを利用して社会的ネットワークを構築可能にするサービスで、ソーシャルメディアの1つ
クラウド	Cloud Computing	ソフトウェア等をネットワーク越しに利用者に提供する仕組みやそのデータが蓄積・運用されているデータセンター及びサーバー群の総称

当社グループは、中期事業方針『SiLK VISION 2020』において、2020年4月期に売上高500億円、営業利益50億円の達成を目標に掲げており、その前年となる当連結会計年度は、売上高450億円、営業利益25億円、経常利益23.5億円、親会社株主に帰属する当期純利益2.5億円の達成に向け、事業を推進しています。そして、当第1四半期連結累計期間は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純損益の何れも前第1四半期連結累計期間を上回る結果となりました。

当社グループが継続成長事業の1つと位置付けているモバイル事業においては、当社がMVNEとして提供するMVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」が堅調に推移しました。また、同じく当社が提供する固定通信とモバイル通信を融合させた通信サービス「モバビジ」では、事業規模の拡大を見据え、総務省よりFMC用電話番号である「060-0」の指定を受けました。MVNOであるDTIでは、サービスラインアップの見直しを講じることで利益率の向上に努めました。また、同じくMVNOとして格安スマートフォンサービスを提供するトーンモバイルでは、これまでのオリジナル端末に加え、iPhone向けSIMでも同社独自の“安心・安全”なサービスを利用できるなど、新たなサービス提供に努めました。さらにiPhone向けSIMサービスは、オンライン販売に加えて店舗での販売も開始しました。

もう1つの継続成長事業と位置付けているアドテクノロジー事業では、フルスピードがDSP広告サービスの拡販や動画広告市場向けのサービス展開に注力し、ソーシャルメディアマーケティングも堅調に伸長しました。また、フォーイトにおいてもアフィリエイトの利用満足度が極めて高いアフィリエイトサービスの更なる利便性の向上に取り組んだことで、事業規模が拡大しました。

新分野である生活領域の各事業については、今後の当社グループ発展の一翼を担うものとするべく、継続的にその育成に注力しており、“Health Tech”分野においてはフリービットEPARKヘルスケアが、また、“IoT”分野においては当社が、そして“不動産Tech”分野においてはギガプライズがそれぞれ中心となり、当社グループの事業リソースを最大限に活かす形で推し進めています。当社グループでは、現段階において事業規模の拡大を最優先事項と位置付けており、その過程において蓄積される様々なデータや事業ノウハウを競合他社との差別化に活かしていくことが市場における絶対的優位性の確立に繋がると捉えています。そのためには、性急な収益化よりも顧客基盤獲得のための投資を継続していくことが肝要であるとの認識のもと、引き続き、事業活動に臨みました。

以上の結果、トーンモバイルの黒字化を企図した追加出資に伴い持分法による投資損失193,088千円を計上したものの、売上高は10,435,662千円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益は401,201千円（前年同四半期比64.0%増）、経常利益は172,297千円（前年同四半期は11,574千円の利益）、そして親会社株主に帰属する四半期純損益は147,917千円の損失（前年同四半期は306,529千円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブロードバンド事業

スマートフォンやタブレットといったICT端末の普及に伴って、宅内Wi-Fi環境を通じたネット動画視聴、ゲームをはじめとしたリッチコンテンツやSNSの利用増加等により固定回線網サービスの原価率は引き続き高いものの、集合住宅向けインターネットサービスが順調に推移したことなどにより、売上高は増加しました。また、今後の拡大に向けた“不動産Tech”分野への投資や回線品質の向上を図りました。

以上の結果、売上高は3,387,933千円（前年同四半期比21.0%増）、セグメント利益は272,314千円（前年同四半期比44.0%減）となりました。

② モバイル事業

MVNO支援パッケージサービスの堅調な推移に加え、MVNOとしてエンドユーザー向けに提供する格安SIMサービスのラインアップの見直しを実行しました。

以上の結果、通信キャリアからの回線卸売り価格の値下げに伴い売上高は微減の2,043,478千円（前年同四半期比2.9%減）となりましたが、利益構造は大きく改善し、セグメント利益は29,036千円（前年同四半期は188,219千円のセグメント損失）となりました。

③ アドテクノロジー事業

アドテクノロジー関連サービスであるDSP広告や動画広告市場向けの商材を中心としたインターネット広告サービスの提供に注力しました。また、アフィリエイトサービスにおいては、得意とする業界に加え、その他の業界への提供も着実に広がったことで事業規模が拡大するとともに、今後の収益獲得のための体制強化等を実行しました。

以上の結果、売上高は4,042,521千円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益は275,225千円（前年同四半期比23.2%減）となりました。

④ クラウド事業

これまでのクラウドサービスに加え、高セキュリティの当社グループのクラウド基盤を活かしたIoT特化型サービスの拡販に注力する一方で、システムの整備・改善とレガシーサービスの淘汰を図りました。

以上の結果、売上高は406,018千円（前年同四半期比9.9%減）、セグメント損失は9,181千円（前年同四半期は1,578千円のセグメント損失）となりました。

⑤ ヘルステック事業

お薬手帳アプリ利用者や調剤薬局向けソリューションサービス利用事業者の獲得等を企図した投資を継続した結果、事業規模が大きく拡大し、売上高は634,811千円（前年同四半期比249.6%増）となりました。また、利益構造も大幅に改善し、セグメント損失は63,775千円（前年同四半期は196,993千円のセグメント損失）となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
ブロードバンド事業	3,387,933	272,314
モバイル事業	2,043,478	29,036
アドテクノロジー事業	4,042,521	275,225
クラウド事業	406,018	△9,181
ヘルステック事業	634,811	△63,775
その他	84,654	12,078
調整額	△163,754	△114,497
合計	10,435,662	401,201

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は30,791,124千円なり、前連結会計年度末と比べて5,437千円減少しました。これは主として、ソフトウェアが396,427千円、現金及び預金が284,884千円減少したものの、リース資産（無形）が582,047千円、のれんが254,524千円増加したことによるものです。

負債は20,357,687千円となり、前連結会計年度末と比べて236,233千円増加しました。これは主として、未払金が497,615千円及び未払法人税等が374,268千円減少したものの、長期借入金が297,946千円及びリース債務（固定）が656,591千円増加したことによるものです。

純資産は、利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて241,670千円減少の10,433,436千円となり、この結果、自己資本比率は27.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、中期事業方針『SiLK VISION 2020』の達成並びに持続的な事業成長のため、新たな事業シナジーの創出を目的とした子会社の取得（連結子会社化）とモバイル事業の拡大を企図した投資を実行する見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2018年9月7日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,656,143	13,371,259
受取手形及び売掛金	5,088,367	5,261,085
商品及び製品	286,523	286,117
仕掛品	119,415	77,319
原材料及び貯蔵品	7,437	8,240
その他	3,055,128	2,639,560
貸倒引当金	△199,721	△190,917
流動資産合計	22,013,295	21,452,664
固定資産		
有形固定資産	2,122,573	2,283,199
無形固定資産		
のれん	2,142,535	2,397,060
ソフトウェア	1,494,424	1,097,997
リース資産	377,573	959,621
その他	254,961	165,088
無形固定資産合計	4,269,495	4,619,767
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179,359	1,257,408
差入保証金	539,930	563,418
その他	961,586	897,909
貸倒引当金	△289,678	△283,243
投資その他の資産合計	2,391,197	2,435,492
固定資産合計	8,783,266	9,338,460
資産合計	30,796,561	30,791,124
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,085	180,373
短期借入金	300,000	314,676
1年内返済予定の長期借入金	1,726,551	1,607,152
未払金	5,499,035	5,001,420
未払法人税等	580,023	205,754
引当金	319,384	286,457
その他	1,839,972	1,802,879
流動負債合計	10,352,052	9,398,715
固定負債		
社債	3,411,000	3,411,000
長期借入金	4,967,102	5,265,048
リース債務	1,032,422	1,689,013
役員退職慰労引当金	—	44,485
退職給付に係る負債	25,620	26,960
その他	333,257	522,465
固定負債合計	9,769,401	10,958,971
負債合計	20,121,454	20,357,687

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,514,185	4,514,185
資本剰余金	3,131,767	3,130,999
利益剰余金	1,995,165	1,688,878
自己株式	△752,710	△752,710
株主資本合計	8,888,407	8,581,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,624	△18,121
為替換算調整勘定	5,697	5,715
その他の包括利益累計額合計	△12,927	△12,406
新株予約権	1,608	1,608
非支配株主持分	1,798,019	1,862,883
純資産合計	10,675,107	10,433,436
負債純資産合計	30,796,561	30,791,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)
売上高	9,444,030	10,435,662
売上原価	7,080,544	7,621,432
売上総利益	2,363,485	2,814,229
販売費及び一般管理費	2,118,805	2,413,028
営業利益	244,680	401,201
営業外収益		
受取利息	78	612
受取配当金	4	5
受取保険金及び配当金	434	866
助成金収入	2,260	2,200
債務免除益	4,124	—
その他	10,561	560
営業外収益合計	17,464	4,244
営業外費用		
支払利息	16,823	27,727
持分法による投資損失	231,896	195,155
支払手数料	312	5,625
その他	1,538	4,639
営業外費用合計	250,570	233,148
経常利益	11,574	172,297
特別利益		
投資有価証券売却益	—	308
負ののれん発生益	573	—
特別利益合計	573	308
特別損失		
固定資産除売却損	1,057	2,838
投資有価証券評価損	2,092	—
通信設備除却費用負担金	14,425	—
特別損失合計	17,575	2,838
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,428	169,767
法人税、住民税及び事業税	185,955	172,494
法人税等調整額	78,432	99,282
法人税等合計	264,387	271,776
四半期純損失(△)	△269,815	△102,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,713	45,907
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△306,529	△147,917

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)
四半期純損失(△)	△269,815	△102,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	509
為替換算調整勘定	△876	△6,943
その他の包括利益合計	△1,071	△6,434
四半期包括利益	△270,887	△108,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△309,174	△147,395
非支配株主に係る四半期包括利益	38,287	38,952

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年5月1日至2017年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド事業	モバイル事業	アドテクノロジー事業	クラウド事業	ヘルステック事業
売上高					
外部顧客への売上高	2,753,282	2,101,902	3,940,030	418,183	181,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,916	1,791	6,129	32,658	—
計	2,799,198	2,103,693	3,946,160	450,842	181,603
セグメント利益又は損失(△)	486,198	△188,219	358,365	△1,578	△196,993

(単位:千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	49,028	9,444,030	—	9,444,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,740	99,236	△99,236	—
計	61,769	9,543,267	△99,236	9,444,030
セグメント利益又は損失(△)	6,924	464,697	△220,017	244,680

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,017千円には、のれんの償却額△220,239千円及びその他の連結調整額221千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年5月1日至2018年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド 事業	モバイル事業	アドテクノロジー 事業	クラウド事業	ヘルステック 事業
売上高					
外部顧客への売上高	3,343,852	2,041,088	3,967,422	373,616	634,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,081	2,390	75,099	32,401	4
計	3,387,933	2,043,478	4,042,521	406,018	634,811
セグメント利益又は損失(△)	272,314	29,036	275,225	△9,181	△63,775

(単位:千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	74,875	10,435,662	—	10,435,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,778	163,754	△163,754	—
計	84,654	10,599,417	△163,754	10,435,662
セグメント利益又は損失(△)	12,078	515,698	△114,497	401,201

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,497千円には、のれんの償却額△121,149千円及びその他の連結調整額6,652千円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。